

シラバス

2022年度版



鍼灸医療科第二部 1年

学校法人 赤門宏志学院

赤門鍼灸柔整専門学校

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	伊東 太郎 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸医療科第二部 1年
科目名	生理学 I	曜日・時間	月曜日 17:40～

【授業概要・目標】

- (1) 生理学の基本が分かるようになる。
 (2) 生理学の専門用語に慣れる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション
2	第1章 生理学の基礎(1)
3	第1章 生理学の基礎(2)
4	第1章 生理学の基礎(3)
5	第2章 循環(1)
6	第2章 循環(2)
7	第2章 循環(3)
8	第2章 循環(4)
9	第2章 循環(5)
10	第3章 呼吸(1)
11	第3章 呼吸(2)
12	第3章 呼吸(3)
13	第3章 呼吸(4)
14	前期の復習
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	第4章 消化と吸収(1)
2	第4章 消化と吸収(2)
3	第4章 消化と吸収(3)
4	第4章 消化と吸収(4)
5	第5章 代謝(1)
6	第5章 代謝(2)
7	第5章 代謝(3)
8	第6章 体温(1)
9	第6章 体温(2)
10	第7章 排泄(1)
11	第7章 排泄(2)
12	第7章 排泄(3)
13	第7章 排泄(4)
14	後期の復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	小テスト(30%)＋期末試験(70%)を総合して評価。
授業の進め方	・教科書の内容を中心にスライドで講義。 ・毎回の小テストで理解を深める。
注意 (学生に望むこと)	・A4ファイルを1冊用意すること。 ・分からないところはそのままにせず、調べてみる。
テキスト・参考書	『生理学』(第3版)(東洋療法学校協会編)・配布プリント

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	国分 壮一	学科・年	鍼灸医療科第二部 1年
科目名	解剖学Ⅱ	曜日・時間	月曜日 19:15～

【授業概要・目標】 人体の構造と機能について理解できる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	運動器系の総論(筋を中心に)Ⅰ
2	運動器系の総論(筋を中心に)Ⅱ
3	体幹の筋Ⅰ
4	体幹の筋Ⅱ
5	体幹の運動
6	上肢の筋Ⅰ
7	上肢の筋Ⅱ
8	上肢の運動
9	体幹の脈管と神経
10	下肢の筋Ⅰ
11	下肢の筋Ⅱ
12	下肢の運動
13	頭頸部の筋Ⅰ
14	頭頸部の筋Ⅱ
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	神経系総論Ⅰ
2	神経系総論Ⅱ
3	中枢神経系Ⅰ
4	中枢神経系Ⅱ・伝導路
5	末梢神経Ⅰ
6	末梢神経Ⅱ
7	体幹の神経
8	上肢の神経
9	下肢の神経
10	頭頸部の神経
11	感覚神経Ⅰ
12	感覚神経Ⅱ
13	感覚神経Ⅲ
14	予備日
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	出席・定期試験・ミニテストにより評価する。
授業の進め方	授業前に配布するプリントとプレゼンテーションにより行う。
注意 (学生に望むこと)	予習は必要ないが、授業中に理解できるように集中して聞いてほしい。 また復習が望ましい。
テキスト・参考書	指定された教科書を用いる。

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	高橋 務	学科・年	鍼灸医療科第二部 1年
科目名	解剖学Ⅲ	曜日・時間	火曜日 17:40～

【授業概要・目標】
解剖学用語を覚えると同時に、人体各部の位置や役割を理解する。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション 運動器系(総論): I-1. 骨格系
2	運動器系(総論): I-1. 骨格系
3	運動器系(総論): I-2. 筋系
4	(各論) II-1. 脊柱①
5	II-1. 脊柱②
6	II-1. 脊柱③
7	II-2. 胸郭①
8	II-2. 胸郭② II-3. 上肢の骨格①
9	II-3. 上肢の骨格②
10	II-3. 上肢の骨格③
11	II-3. 上肢の骨格④
12	II-3. 上肢の骨格⑤(関節)
13	II-3. 上肢の骨格⑥(関節)
14	II-3. 上肢の骨格⑦(関節)
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	前期評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	II-4. 下肢の骨格①
2	II-4. 下肢の骨格②
3	II-4. 下肢の骨格③
4	II-4. 下肢の骨格④
5	II-4. 下肢の骨格⑤(関節)
6	II-4. 下肢の骨格⑥(関節)
7	II-4. 下肢の骨格⑦(関節)
8	II-5. 頭蓋骨①
9	II-5. 頭蓋骨②
10	II-5. 頭蓋骨③
11	II-5. 頭蓋骨④
12	II-5. 頭蓋骨⑤
13	II-5. 頭蓋骨⑥(関節)
14	体表解剖
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	後期評価点検

評価方法	筆記試験、小テスト、出席(授業態度も含む)などの総合評価
授業の進め方	教科書とプリントを中心に授業を行い、小テストで理解を深める様に進める。
注意 (学生に望むこと)	教科書・図だけではなく、人体で理解できる様にする。
テキスト・参考書	「解剖学 第2版」(医歯薬出版株式会社)

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	古川 雄一郎 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸医療科第二部 1年
科目名	衛生学・公衆衛生学	曜日・時間	火曜日 19:15～

【授業概要・目標】

人間の生存に影響を及ぼす様々な環境要因をふまえ、健康の保持、増進に関する理解を深める。

<前期>	
回	授業テーマ
1	衛生学・公衆衛生学の意義
2	健康①
3	健康②
4	ライフスタイルと健康①
5	ライフスタイルと健康②
6	環境と健康①
7	環境と健康②
8	環境と健康③
9	産業保健①
10	産業保健②
11	精神保健①
12	精神保健②
13	精神保健③
14	前期まとめ
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<後期>	
回	授業テーマ
1	母子保健①
2	母子保健②
3	成人・高齢者保健①
4	成人・高齢者保健②
5	成人・高齢者保健③
6	感染症①
7	感染症②
8	消毒法①
9	消毒法②
10	疫学①
11	疫学②
12	保健統計①
13	保健統計②
14	後期まとめ
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	前期:筆記試験による、後期:筆記試験による その他:出席状況、授業態度なども考慮する
授業の進め方	教科書に基づいてプリントで進めるが、学習状況により内容が前後したり、変更したりすることがある
注意 (学生に望むこと)	暗記よりも理解することを意識して勉強してほしい
テキスト・参考書	衛生学・公衆衛生学 第2版 医歯薬出版株式会社

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	大槻 健蔵	学科・年	鍼灸医療科第二部 1年
科目名	自然科学概論(半期)	曜日・時間	前期) 水曜日 17:40~

【授業概要・目標】	
<p>(1) 日本は、自然災害大国である。近年、地球温暖化が進み異常気象により巨大台風や豪雨による大災害が多発している。被災時における身の安全と被災地住民への支援活動の協力が極めて重要であることを理解する。</p> <p>(2) 生命体を構成している「細胞」の基本構造、増殖様式および生理機能を理解する。</p> <p>(3) 生命体ゲノム(DNA)上の遺伝情報(遺伝子)とタンパク質(機能性因子)との関係を正確に理解する。</p> <p>(4) 病原微生物(主に細菌とウイルス)によるヒト感染症の発症の仕組みを理解する。</p> <p>(5) 我々がよく利用する食品添加物、農薬や化粧品などに含む主成分が生体の情報システムを攪乱させることによる免疫系の異常作用およびタバコの副流煙に含む多数の発がん物質による発がん作用を理解する。</p> <p>(6) 「健康の維持」に重要な「免疫(生体防御)の仕組み」と彩色野菜類に含む物質の免疫促進作用を理解する。</p>	

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	序論-1. 「自然科学概論」とはどんなことを学ぶ教科か？ 地球温暖化の要因、異常気象による自然災害の多発および蚊の生態系の変化
2	2. 我が国の自然災害(地震、台風や豪雨水害)の発災時における身の安全の確保と被災地住民への支援協力の重要性
3	3. 世界の環境汚染(大気汚染、PM2.5汚染やプラスチックゴミの海洋汚染)による健康問題および安全な飲料水の確保
4	各論-1. 生命の誕生から多様な生物種への進化および生命活動(細胞増殖、代謝と遺伝子発現)の仕組み
5	2. 生命活動に重要な機能性因子(タンパク質)の種類と生理機能
6	3. 自然界とヒト体内に生存する多様な微生物の特徴と生理的な役割
7	4. 食中毒を起こす細菌とウイルスの特徴、食材と感染ルートおよび感染予防
8	5. 性感染症の起因微生物の特徴、感染拡大の仕組みおよび感染予防
9	6. ヒトが多発する風邪の原因ウイルスの特徴と感染予防および風邪薬の効果
10	7. 新型コロナウイルスの世界的なパンデミック感染の特徴とmRNAワクチンの予防効果
11	8. タバコの副流煙に含まれる多様な発がん性物質による発がん作用
12	9. 多種多様な食品添加物、農薬や化粧品に含まれる物質の安全性と発がん作用
13	10. 病原微生物による感染症とがん発症を防御している「免疫の仕組み」
14	11. 彩色野菜に多く含むフィトケミカル(ポリフェノール)の抗酸化作用と健康効果 12. 全授業内容の「まとめ」の資料配布(本教科の試験勉強に活用)
◆	前期試験(試験監督は教職員・専任教員)
15	13. 試験結果の評価と課題 14. 様々な薬剤の有効な薬理作用と副作用および正しい使い方

評価方法	筆記試験の成績、積極的な質問および出席日数により総合的に評価する。
授業の進め方	テーマ毎に配布資料を用いてPower pointで行い、必ず質問の時間を設けます。
注意 (学生に望むこと)	授業中にどんなことでも遠慮なく質問して下さい。本分野における興味ある課題や社会的な話題を早めに要望して下さい。皆さんの要望を授業で解説したく思っております。

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

テキスト・参考書	<ol style="list-style-type: none">1)「やさしい基礎生物学」南雲 保編集 羊土社(2020年3月第5刷発行)2)「がん細胞の誕生」黒木登志夫著 朝日選書3)「遺伝子が語る生命像」本庶 佑著 Blue Backs4)「ウイルス感染症がわかる本」田口文章著 成美堂出版(2005)5)「腸内細菌の役割」藤田紘一郎著(腸内細菌に関する著書多数あり)6)「これならわかる免疫学」安保 徹著 ナツメ社(2010)7)「ガンより怖い薬剤耐性菌」三瀬勝利、山内一也著 集英社(2018)
-----------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	三保 翔平	学科・年	鍼灸医療科第二部 1年
科目名	経絡経穴概論Ⅱ(半期)	曜日・時間	後期) 水曜日 17:40～

【授業概要・目標】
 要穴の理解を深める。総合的な経絡経穴についての理解を深める。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
◆	
15	

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	経穴の学習法、手の太陰肺経、要穴の解説
2	手の陽明大腸経、要穴の解説
3	足の陽明胃経、要穴の解説
4	足の太陰脾経、要穴の解説
5	手の少陰心経、要穴の解説
6	手の太陽小腸経、要穴の解説
7	足の太陽膀胱経、要穴の解説
8	足の少陰腎経、要穴の解説
9	手の厥陰心包経、要穴の解説
10	手の少陽三焦経、要穴の解説
11	足の少陽胆経、要穴の解説
12	足の厥陰肝経、要穴の解説
13	骨度法
14	要穴復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	定期試験。
授業の進め方	板書、パワーポイントの活用。
注意 (学生に望むこと)	板書の記録。
テキスト・参考書	『新版 経絡経穴概論』・配布資料

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	古川 雄一郎 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸医療科第二部 1年
科目名	生理学Ⅱ	曜日・時間	水曜日 19:15～

【授業概要・目標】

生命現象がどのように行われるか内分泌、神経、免疫によって説明することが出来るようになる

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	生理学概論
2	神経Ⅰ
3	神経Ⅱ
4	神経Ⅲ
5	神経Ⅳ
6	神経Ⅴ
7	内臓の自律神経性調節Ⅰ
8	内臓の自律神経性調節Ⅱ
9	内臓の自律神経性調節Ⅲ
10	内臓の自律神経性調節Ⅳ
11	内臓の自律神経性調節Ⅴ
12	内分泌Ⅰ
13	内分泌Ⅱ
14	内分泌Ⅲ
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	生殖
2	成長と老化
3	筋Ⅰ
4	筋Ⅱ
5	運動Ⅰ
6	運動Ⅱ
7	運動Ⅲ
8	感覚Ⅰ
9	感覚Ⅱ
10	感覚Ⅲ
11	生体の防御機構Ⅰ
12	生体の防御機構Ⅱ
13	身体活動の協調
14	まとめ
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	前期:筆記試験による、後期:筆記試験による その他:出席状況、授業態度なども考慮する
授業の進め方	教科書に基づいてプリントで進めるが、学習状況により内容が前後したり、変更したりすることがある
注意 (学生に望むこと)	暗記よりも理解することを意識して勉強してほしい
テキスト・参考書	生理学第3版 東洋療法学校協会編

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	佐々木 和代	学科・年	鍼灸医療科第二部 1年
科目名	経絡経穴概論 I	曜日・時間	木曜日 17:40～

【授業概要・目標】
 経絡・経穴の基礎および十四経脈の流注・種類・機能、その経穴の名称・部位、骨度等を総合的に学習する。経穴361穴暗唱。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション(授業・試験について)、経絡経穴の基礎
2	"
3	流注と経穴名(肺経・大腸経)
4	流注と経穴名(胃経・脾経)
5	流注と経穴名(心経・小腸経)
6	流注と経穴名(膀胱経)
7	流注と経穴名(腎経・心包経)
8	流注と経穴名(三焦経・胆経)
9	流注と経穴名(肝経・督脈・任脈)
10	奇経八脈とその流注
11	骨度法
12	"
13	復習
14	前期試験の注意事項
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	後期授業の進め方 背部の経穴名と取穴部位(筋枝)
2	胸部の経穴名と取穴部位(筋枝)
3	上腹部の経穴名と取穴部位(筋枝)
4	下腹部の経穴名と取穴部位(筋枝)
5	肩部・頸部・上腕の経穴名と取穴部位(筋枝)
6	前腕部・手部の経穴名と取穴部位(筋枝)
7	中間テスト
8	復習1
9	下腿部の経穴名と取穴部位(筋枝)
10	大腿部・足部の経穴名と取穴部位(筋枝)
11	顔面部の経穴名と取穴部位(筋枝)
12	頭部の経穴名と取穴部位(筋枝)
13	復習2
14	後期試験の注意事項
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	出席および試験(定期試験・確認小テスト・経穴暗唱)の結果を総合的に評価する。
授業の進め方	教科書『経絡・経穴概論』を基本に、PowerPoint、板書、資料配布等により授業を進める。
注意 (学生に望むこと)	毎回経穴小テスト(経穴暗唱を含む)を行う。経穴は前期中に361穴覚える。
テキスト・参考書	『経絡・経穴概論』医道の日本社

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	佐藤 光恵	学科・年	鍼灸医療科第二部 1年
科目名	東洋医学概論 I	曜日・時間	木曜日 19:15～

【授業概要・目標】

前期は東洋医学の基礎概念となる陰陽五行学説、生体物質について学ぶ。
後期は各蔵象の生理・病理を学び、2学年で学ぶ病証への足掛かりを作る。

＜前期＞		＜後期＞	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	オリエンテーション	1	神の概念・生理・病理(p62-68)
2	人体の見方、東洋医学的治療 (p13-28)	2	人体による陰陽 (p68-73)
3	日本の東洋医学の現状(p29-36)	3	蔵象学説、肝系統 (p74-87)
4	陰陽学説(p181-187)	4	肝系統＜生理・病理＞ (p77-87)
5	五行学説(p188-200)	5	心系統＜生理・病理＞ (p87-97)
6	五行学説(p188-200)	6	心系統＜生理・病理＞ (p87-97)
7	中間試験(五行色体表・陰陽分類)	7	脾系統＜生理・病理＞ (p97-106)
8	生体物質＜精の生理・病理＞ (p37-42)	8	脾系統＜生理・病理＞ (p97-106)
9	生体物質＜気の生理＞ (p42-46)	9	肺系統＜生理・病理＞ (p106-115)
10	生体物質＜気の病理＞(p46-50)	10	肺系統＜生理・病理＞ (p106-115)
11	生体物質＜血の生理・病理＞ (p50-53)	11	腎系統＜生理・病理＞ (p115-125)
12	生体物質＜津液の生理・病理＞ (p54-58)	12	腎系統＜生理・病理＞ (p115-125)
13	生体物質の相互関係(p58-62)	13	三焦(p125-127)
14	前期まとめ	14	前期・後期まとめ
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)	◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検	15	評価点検

評価方法	定期試験の結果を元に評価する。(前期は中間試験も含む)
授業の進め方	教科書を元に進め、適宜プリント配布や課題を出して理解を深める。
注意 (学生に望むこと)	東洋医学独特の概念を最初から理解することは非常に難しいため、世界観に慣れる為にも教科書の習熟に努めてほしい。
テキスト・参考書	『新版 東洋医学概論』 医道の日本社

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	今野 弘務	学科・年	鍼灸医療科第二部 1年
科目名	鍼灸基礎実技 I	曜日・時間	金曜日 17:40～

【授業概要・目標】 (1) 施術上必要な基礎知識を理解し、実践できるようになる。 (2) 安全な鍼灸の基本実技ができるようになる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション
2	講義: 鍼の基礎知識 実技: 挿管法
3	講義: 灸の基礎知識 実技: 艾炷のひねり方(米粒大)
4	講義: 消毒 実技: 管鍼法(押手と弾入)
5	管鍼法の刺鍼の手順①
6	透熱灸の手順②(米粒大)
7	管鍼法の刺鍼の手順②
8	透熱灸の手順②(半米粒大)
9	中間実技試験
10	講義: リスク管理 実技: 管鍼法(下腿部への刺鍼)
11	知熱灸(米粒大、小指頭大など)
12	実技試験練習
13	前期実技試験【はり】
14	前期実技試験【きゅう】
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	実力実技試験【※後期は毎回失眠穴に灸を行います。】
2	講義: 鍼灸医療安全ガイドライン 実技: 直刺(深刺)
3	斜刺、横刺
4	撚鍼法
5	刺鍼中の手技(雀啄、間歇、振戦)
6	刺鍼中の手技(旋撚、回旋、副刺激)
7	刺鍼中の手技 (示指打、随鍼、内調、細指)
8	刺鍼中の手技 (管散、鍼尖転、刺鍼転)
9	中間実技試験
10	鍼灸臨床実技
11	鍼灸臨床実技
12	実技試験練習
13	後期実技試験【はり】
14	後期実技試験【きゅう】
15	評価点検

評価方法	評価は基本的に前期・後期実技試験によって行うが、中間実技試験や実力実技試験、出席状況、授業態度なども考慮する。
授業の進め方	授業は教科書・シラバスに基づいて進めるが、学習状況により内容が前後したり変更したりすることがある。
注意 (学生に望むこと)	(1) 毎日、コツコツ練習をしてください。 (2) 態度・言葉遣い・白衣汚れ・身なりに気を付け、授業後は掃除をすること。
テキスト・参考書	テキスト: 『はりきゅう実技<基礎編>』(東洋療法学校協会編)

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	高崎 駿士	学科・年	鍼灸医療科第二部 1年
科目名	中国語	曜日・時間	金曜日 19:15～

【授業概要・目標】 ・ピンインを使用して中国語の発音を学び、実際に発音できるようになる。 ・中国語文法の基礎を学び、初歩的な知識を獲得する。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	ガイダンス
2	発音(1)
3	発音(2)
4	発音(3)
5	発音(4)
6	第五課
7	第六課
8	第七課
9	第五、六、七課の復習
10	第八課
11	第九課
12	第十課
13	第八、九、十課の復習
14	前期まとめ
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期の復習
2	第十一課
3	第十二課
4	第十三課
5	第十四課
6	第十一、十二、十三、十四課の復習
7	第十五課
8	第十六課
9	第十七課
10	第十八課
11	第十五、十六、十七、十八課の復習
12	第十九課
13	第二十課
14	後期まとめ
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	試験、及び授業中の発言や課題提出によって評価する。
授業の進め方	発音の基礎を習得後、テキストの音読や読解、また、適宜資料を配布し、中国語と中国文化についての知識を深める。
注意 (学生に望むこと)	積極的に授業に参加すること。
テキスト・参考書	相原茂ほか『日中いぶこみ交差点 エssenシャル版』(朝日出版社)

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	神成 有己	学科・年	鍼灸医療科第二部 1年
科目名	手技療法 I	曜日・時間	土曜日 13:10～

【授業概要・目標】 ・基本的なあん摩・マッサージ・指圧の手技を身につけ、治療の幅を広げてもらう。 ・正しい手技のやり方と、手技をする際の体の使い方を身につけてもらう。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	施術上の注意、あん摩基礎
2	あん摩基礎(基本手技①)
3	あん摩基礎(基本手技②)
4	あん摩基礎(肩背部への施術①)
5	あん摩基礎(肩背部への施術②)
6	あん摩基礎(頸部・上肢①)
7	あん摩基礎(上肢②・腰部①)
8	あん摩基礎(腰部②)
9	あん摩基礎(下肢部①)
10	あん摩基礎(下肢部②・頭部①)
11	あん摩基礎(頭部②・胸腹部)
12	総復習
13	実技テスト
14	筆記テスト
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	ガイダンス マッサージ基礎(基本手技)
2	運動法と矯正法 上肢部への施術①
3	上肢部への施術②
4	下肢部への施術①
5	下肢部への施術②
6	背腰部への施術
7	頸部への施術
8	頭部への施術 胸部への施術①
9	胸部への施術② 腹部への施術①
10	腹部への施術②
11	顔面部、関節マッサージと運動法
12	総復習
13	実技テスト
14	筆記テスト
15	評価点検

評価方法	実技を中心に評価、出席なども加味する。
授業の進め方	動作や一連の施術の流れを見せ、学生に適宜指導していく。
注意 (学生に望むこと)	間違えた動作、不真面目な態度はケガやリスクを招くので集中する事。
テキスト・参考書	『あん摩マッサージ指圧実技(基礎部)』(医道の日本社)、印刷物を配布。

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	神成 有己	学科・年	鍼灸医療科第二部 1年
科目名	東洋医学概論Ⅱ	曜日・時間	土曜日 14:50～

【授業概要・目標】

東洋医学とは何か、そしてその歴史を知ってもらい、東洋医学について興味関心を持ってもらう。また取穴位置をしっかりと覚えてもらい、実技に役立ててもらおう。

＜前期＞		＜後期＞	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	ガイダンス、東洋医学とは	1	後期ガイダンス,日本医学史④
2	東洋の医学①	2	日本医学史⑤
3	東洋の医学②	3	日本医学史⑥
4	東洋の医学③	4	日本医学史⑦
5	東洋の医学④	5	日本医学史⑧
6	中間テスト(予定)	6	中間テスト(予定)
7	中国医学史①	7	テスト解説,古典医学文献序
8	中国医学史②	8	古典医学文献①
9	中国医学史③	9	古典医学文献②
10	中国医学史④	10	古典医学文献③
11	中国医学史⑤、日本医学史序	11	古典医学文献④
12	日本医学史②	12	古典医学文献⑤
13	日本医学史③	13	古典医学文献⑥
14	前期の復習	14	古典医学文献の復習
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)	◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検	15	評価点検

評価方法	中間+期末/2したものを点数とするが、授業態度、出席点も考慮する。
授業の進め方	基本はプリントを配布。パワーポイント及び板書にて進める。
注意 (学生に望むこと)	体調管理は常に行い、休んだ場合はきちんとクラスメイトに確認を取ること。
テキスト・参考書	適宜授業内で紹介する。

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	宍戸 新一郎	学科・年	鍼灸医療科第二部 1年
科目名	解剖学 I	曜日・時間	土曜日 16:30～

【授業概要・目標】
 施術者として必要な人体諸器官の位置・形態・構造について教授し、これを施術に応用する能力と態度を修得させる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	人体の構成総論
2	運動の表し方/器官系総論
3	人体の構成-1
4	人体の構成-2
5	人体の構成-3
6	循環器系-1
7	循環器系-2
8	循環器系-3
9	循環器系-4
10	循環器系-5
11	呼吸器系-1
12	呼吸器系-2
13	前期総まとめ
14	前期復習
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	消化器系-1
2	消化器系-2
3	消化器系-3
4	消化器系-4
5	消化器系-5
6	泌尿器系-1
7	泌尿器系-2
8	生殖器系-1
9	生殖器系-2
10	生殖器系-3
11	内分泌系-1
12	内分泌系-2
13	内分泌系-3
14	後期復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	前期:筆記試験による 後期:筆記試験による その他:出席状況、授業態度なども考慮する
授業の進め方	教科書に基づいて進めるが、学習状況により内容が前後したり、変更したりすることがある
注意 (学生に望むこと)	2年次・3年次の教科の基礎になる科目なので、予習復習を怠らないこと
テキスト・参考書	『解剖学』第二版 医歯薬出版株式会社

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	専任教員	学科・年	鍼灸医療科第二部 1年
科目名	臨床実習 I	曜日・時間	－曜日 一時限

【授業概要・目標】

①患者への接遇ができる。 ②基本的な施術準備ができる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	臨床実習前授業(Ⅰ)
2	臨床実習前授業(Ⅱ)
3	臨床実習(1)
4	臨床実習(2)
5	臨床実習(3)
6	臨床実習(4)
7	臨床実習(5)
8	臨床実習(6)
9	臨床実習(7)
10	臨床実習(8)
11	臨床実習(9)
12	臨床実習(10)
13	臨床実習(11)
14	臨床実習(12)
◆	－
15	臨床実習(13)

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	臨床実習(14)
2	臨床実習(15)
3	臨床実習(16)
4	臨床実習(17)
5	臨床実習(18)
6	臨床実習(19)
7	臨床実習(20)
8	臨床実習(21)
9	臨床実習(22)
10	臨床実習(23)
11	－
12	－
13	－
14	－
◆	－
15	－

評価方法	知識の習得・身だしなみ・参加意欲などを総合的に評価する。
授業の進め方	臨床に必要な知識の習得、施術見学、環境整備、施術準備(補助)などを中心に行う。
注意 (学生に望むこと)	積極的に実習に参加してもらいたい。
テキスト・参考書	なし